

第7回 若槻 総フェスタ 盛大に開催!

「第7回若槻総フェスタ」は、11月16日(土)若槻コミュニティセンターにて、一般参加者、清泉女学院大学と北部中学校のボランティア、コミわかスタッフなど総勢1,000名を超え、盛大に開催することができました。

今回は、当初予定していた10月27日(日)の開催に向け準備を進めてきましたが、自由民主党の総裁選挙に始まり衆議院解散総選挙に伴う投票日が確定せず、関係部門との調整などぎりぎりの判断をせざるを得ませんでした。11月中旬の開催としたため、気温の低下や天候不順も心配しましたが、当日は天候にも恵まれ多くの方々にイベントを満喫いただけたと思います。

16日は土曜朝市と重なったため、朝市の代替として総フェスタに出店、新たに若槻ホームさんがコーヒー、焼きマッシュマロ、八雲さんがおやき、うどんを販売しました。



試飲コーナー

三登山ホールでは多くの事業者様から提供いただいた恒例の日用品バザー、若槻ホームさんとウエルシアさんによる健康相談を行いました。

メインの体育館ステージの総まつりコーナーでは三登山太鼓、若槻音頭・新町甚句保存会、神楽保存会の獅子舞、清泉女学院大学学生さんのダンス、北部中学校生徒さんの合唱が披露され、アルクマ、づなっち、



上野神楽(子ども獅子舞)



北中合唱部

人権に関する作文発表 (徳間小学校)

コミわかでは人権教育・啓発活動として、小中学校の生徒さんに人権に関する作文を寄稿していただいています。今回は徳間小学校6年生の作文2点をご紹介します。この機会にご家庭内で人権について話し合ってみてはいかがでしょうか？(人権教育部会)

いじめの経験から

六年 江尻 映水

私はいじめや差別などが無くなるのが人権が守られるということだと思います。私は一年生の頃、いじめにあったことがあります。主に名前のことです。「映水」という名前はめずらしく、それでいじめられていました。何を言われたかは覚えていませんがとても傷ついて、悲しくてつらかったです。そのとき、いじめていたのは六年生でした。今、私は六年生になりました。あの時いじめてきた人と同じ六年生です。私はこのような体験をしてほしくないと思っています。そこで私は、「少しずつでも受け入れる」ことをしてほしいと思います。私も人とちがったり、考えがちがう人を見ると変だなと思うこともあります。でもその考えを、最初から否定するのではなく、少しずつでも受け入れてみれば自分とちがっても仲良くなれ、いじめも減る、そして人権が守られると思います。

地域の人へのあいさつ

六年 西澤 春乃

私は朝学校へ行くとき、いつも横断歩道で旗をもっている地域の方がいます。いつも信号の近くに行くと「おはよう」と笑顔で言ってくれたり、学校の話などを聞いてくれたりしています。でも私はいつも「おはようございます」と返事をするのができません。言った方がいいのは頭では分かってるけれど、人見知りかで頭を下げるだけになってしまいます。きっと旗をもって立っている方たちだって返事をしてほしい、と思っていると思います。みんな返事をしなくても毎日あいさつもしてくれて優しい方たちだなと思います。でもたまに他の班の人もあいさつをしてないからいいやと思っている自分は班長としてだめだと思っています。だから、私は最高学年や班長として地域に気持ちの良いあいさつができるようにがんばりたいと思います。